

腎臓病・リウマチ膠原病の管理について



腎臓リウマチ内科医長(兼)透析センター長
三島 敬一郎

●腎臓リウマチ内科・透析センター

当科・当センターは腎臓病・リウマチ膠原病を専門とする4名の医師で構成されていて、腎疾患では急性/慢性腎炎・ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症、さらには透析療法（血液透析、腹膜透析、血漿交換療法など）に対応しています。透析センターは維持透析のみではなく、合併症の治療が可能です。

一方、リウマチ膠原病関連では関節リウマチや全身性エリテマトーデス、ANCA関連血管炎などの精査加療を行っており、その症例数は漸増しています。

1. 検尿異常から腎不全まで

最新の治療法も積極的に取り入れており、患者さん個々に合わせた最適の治療をめざしています。医師を中心に、専門性の高い看護師、薬剤師、栄養士、臨床工学技士が連携し、腎臓病に必要な治療・教育を行っています。腎臓病の治療はむろん大切ですが、その予防はより大切です。

2. 患者さん自身による透析療法の選択

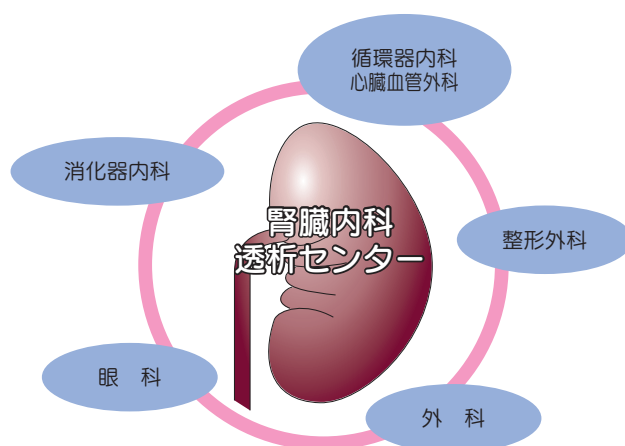
透析というと血液透析を思い浮かべる方が多いと思います。当院では血液透析・腹膜透析のどちらも可能で、患者さんの希望を尊重し、医学的・社会的な判断を行ったうえで透析の方法を決定しています。腹膜透析は、尿量の維持、血管の保存、生活の自由度が高いなどの利点を持ち、適応のある方には積極的に検討したい治療法です。



最新の血液浄化装置

3. 多様な血液浄化療法

院内の各科と協力して、血漿交換、エンドトキン吸着、白血球吸着、LDL吸着、持続血液透析濾過など多様な血液浄化療法を行っています。



4. 合併症を持った透析患者さんの治療

県内各地の医療機関から以下のような合併症で紹介される透析患者さんが多数いらっしゃいます。治療後、落ち着いた段階でもとの医療機関にもどり、透析を継続していただいています。

- ①心筋梗塞、狭心症、閉塞性動脈硬化症など（循環器内科、心臓血管外科）
- ②消化管疾患、胆嚢・膵臓疾患、肝腫瘍など（消化器内科・外科）
- ③骨折・下肢壊疽など（整形外科）
- ④白内障・網膜症など（眼科）

5. 原因不明の発熱、関節痛、筋肉痛の原因は？

膠原病患者さんの非特異的所見として、しばしば上記のような訴えを起こす方がいらっしゃいます。「いろいろ対応してみたけどなかなか熱が下がらない、関節痛・筋肉痛が改善しない」というような患者さんがもしいらっしゃいましたら、一度ご相談いただければ何かしらお手伝いできるかもしれません。